

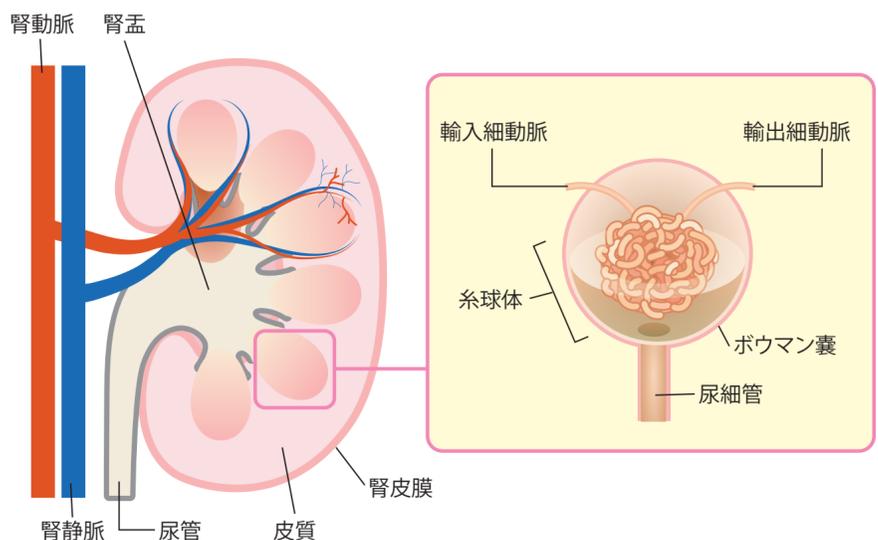
腎臓のはたらきと 心臓の病気との関係

岩手県の29,375人を対象に、腎臓のはたらきと心臓の病気との関係を調べました。

腎臓のはたらき～はたらきをみるシスタチンC～

腎臓はソラマメのような形をしている握りこぶし大の大きさで腰のあたりにある臓器です。腎臓には血液をろ過して老廃物を尿として体の外へ排出する大事な役割があり、右図の糸球体で血液のろ過を行っています。

この血液のろ過量を調べることで腎臓のはたらきがわかります。その指標となるものの一つがシスタチンCです。



図：腎臓の構造と糸球体

※シスタチンC：筋肉量の影響に左右されないなどの特徴があります

調査からわかったこと

今回、シスタチンCと心臓の病気との関係を調べたところ、**シスタチンCを用いたろ過量が、より正確に心臓の病気になるリスクが高い人を検出することがわかりました。**



今後、二次調査の結果と併せて解析することで、皆さまの病気の早期発見や重症化予防などにつなげられたらと考えています。

執筆：IMM 臨床研究・疫学研究部門 市町村支援分野
監修：IMM メガバンク・データ管理部門 佐藤衛